

県央経営者会 会報

第三十九号

発行：平成29年6月



第12回総会は、出席者56名で委任状がちょうど同数なので、合計112票となり、会員総数197名の過半数99名を上回り、総会として承認されました。今回は、司会を青年会の川口正氏が担当し、大変スムーズに進行されました。今後例会での活躍が期待されます。

平成29年度第12回定期総会開催される

日時：平成29年4月24日(月)午後6時
会場：厚木アーバンホテル 新館ベルモパン



総会懇親会

議長 大泉会長

審議事項は、第1号議案から第6号議案までで、大泉会長の指揮のもと滞りなく進行しすべて議案通り承認されました。議案内容は以下のとおり。

- 〔第1号議案〕平成28年度事業報告
- 〔第2号議案〕平成28年度収支決算報告ならびに監査報告
- 〔第3号議案〕役員改選について
- 〔第4号議案〕平成29年度事業計画(案)の承認について
- 〔第5号議案〕平成29年度収支予算(案)の承認について
- 〔第6号議案〕規約改正について

総会終了後本館宴会場に移動して、会員同士の懇親会が盛大に開催されました。



野村證券
池本 健二氏



三井住友銀行
柿崎 昇氏



オーイズミダイニング
波佐間 聡氏



T&Tボクシング・スポーツジム
倉永 丈雄氏

新入会員の紹介

青年会主催第56回例会開催される

■日時 平成28年12月19日(月) 午後6時～7時30分
 ■会場 レンブラントホテル厚木 2階 暁紅の間



日本体育大学理事長
 松浪 健四郎氏
 元衆議院議員
 日本レスリング協会副会長

青年会主催の例会も今年で6回目を迎え、いままでは研修色の濃い内容の例会となっていました。今年度の例会は4年後の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、日本体育大学理事長の松浪健四郎氏(元衆議院議員、日本レスリング協会副会長)に講演をお願いしました。総合司会は、ナックホーム(株)の中村聖孝氏、閉会の言葉をリーガルアンドライフ合同事務所の川口正氏が担当しました。また、全体のプロデュースはサン整骨院の岡田真人氏で、慣れない役割を大過なくこなしたということとはそれぞれの担当者にとつて良い経験になったと思われま



謝辞を述べる大泉青年会会長



閉会の言葉
 川口 正氏



司会
 中村 聖孝氏



講師紹介をする
 岡田 真人氏



開会の言葉
 金青年会副会長



松浪健四郎氏講演会

「若手アスリートの育て方と

価値ある地域のスポーツ振興」

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを開催するということは、ただスポーツ大会を開催するという薄っぺらなものではないと思っています。そこで、1964年の東京オリンピックはどういうものであったか、どんなレガシーがあったかを考えてみたいと思います。

日本は敗戦国であります。広島、長崎に原爆を落とされた。これだけ徹底的にやられた日本が、1953年にオリンピックをやろうと手を挙げました。牽引したのは、当時ロサンゼルスにいたフレッド・和田勇という、和歌山県出身でアメリカでスーパーマーケットをやつて大成した人で、彼がマッカーサーに日本の水泳選手をアメリカに出国させて欲しい。船賃、宿代は自分が持つからという手紙を書いて古橋広之進、橋爪四郎など6人をアメリカに呼びました。

日本は当時ジャップ、ジャップと言われ、差別を受けていましたが、6名の日本の水泳選手が大活躍をした結果、日本人を見る目が変わってきた。それで、和田さんはスポーツの効

果はすごいと思った。彼は、奥様と一緒に南米を回つてヨーロッパにいるIOC委員の買収にかかった。私財を投じて東京オリンピックをやらうと考え、そして1964年の東京オリンピックがついに開催されることになりました。

日本は、オリンピックの前に先進国であり、近代国家であることを世界に歌い上げるために、国も民間も必死になってその意識を変え、いろいろなことをやつてレガシーとして残しました。各家庭にあつては徹底的に上下水道の普及を図り、和式のトイレを水洗式のトイレにかえ、井戸水は水道水に代わつた。都市計画を徹底的にやつた。東京だけでなく地方にもやつた。全国の道路に街路樹を植えて整備したことも忘れてはならない。東京オリンピックは近代国家に脱皮するきっかけになったのです。それは東京都民だけが恩恵を受けたのではなく、全国民がオリンピックをやることによって恩恵を受けたのです。

このおかげで日本は先進国の仲間入りを果たしました。諸外国の人たちに対して、戦後19年であれだけ焼土と化した国土を復興させ、大変な経済大国への道を歩むということを知らしめることができました。

すなわち、オリンピックを開催するということは、国民の意識を変えるということです。2020年のオリンピックは、まず第一に日本国は平和な国家である。世界に冠たる

平和国家として君臨しているということを発表しなければならぬ。今、南スーダンに自衛隊が派遣されて、駆けつけ警護をしなければならぬが、これは日本が国連の加盟国であり、国連の重要な一員として他の国の信頼を得るうえで重要なことなのであります。日本だけ良ければ良いということではない。

戦後70年を過ぎて、あれだけこつぴどくやられた時に、その直後にできた憲法をそのまま踏襲するという稀有なことを、われわれ国民がやってきたことこそが奇跡だと思っております。とにかく、1964年の東京オリンピックは参加国がたった90カ国であった。しかし、2020年の東京オリンピックは190カ国、つまり前回に比べて100カ国以上も多くの国が参加する大変なイベントになるのです。しかも、特筆すべきはオリンピックだけでなく、パラリンピックがオリンピックと同等に扱われようとしている。このことは、全ての人間に差別があつてはならない、共生社会を日本が作るのだということさらさら強く世界に訴えるイベントであろう。

オリンピックは最高のチャンスであります。すべての国々にテレビ中継され、日本という国がクローズアップされる。世界の平和をリードする国家であるということ、世界でたった一つの被爆国として、平和に対するこうい

う考え方をもち、こういうことをしている国家である、ということ、歌い上げるオリンピックでなければならぬと思つています。

二つ目は、皆さんご存知のように日本は平均寿命世界一の国であります。医学の発展もありました。しかし、食料事情ほかいろいろなもの、勘案しても日本人は長生きする。世界一だ。ところが、もうひとつの指標があります。男性は71歳、女性は74.5歳、これは何かと言うと「健康寿命」といいます。平均寿命より12歳、13歳若いのです。ということは、お年寄り12、13年間一人では生きていくことができない。誰かのお世話にならなければならぬ。毎年1兆円ずつ医療費が上がつていきます。今年1兆5千億円にいくだろう。医療費はもう40兆円を超えています。だいたい国民の税金は、55兆円から56兆円です。医療費だけでカツカツなのです。それで、赤字国債を出して国の財政は火の車なのです。健康寿命を延ばそう。死ぬまで一人で生きて行くことができる、そういう国民を作らなければならぬ。そのためにはどうすればよいか？

かつて風邪引きは万病の元と言われました。今は、運動不足は万病の元なのです。何もかも便利になり、体をほとんど動かさなくても生活できる。これでは、生身の体を持つ我々は健康を維持することができない。適度な運動が必要になります。また、日本

人は几帳面ですから自分にノルマを課すのですね。毎日30分走らなければ気がすまない。毎日二万歩かなければ気がすまない。雨の日も風の日も歩く。依存性になつてしまふ。毎日散歩に来ていたおばあさんが、パツと来なくなつた。膝が悪くなつて散歩ができなくなつた。自分にノルマをかけるから依存性になつてしまふ。健康を維持するということは、自分で自分の法律を作つて、それでやらないといけない。適当にすればよい。体を動かし汗を少しかく。団塊の世代の人はあと5、6年すると病院に行き出す。すると病院難民が出るかもしれない。そうしないためには、国民の意識を変えて皆一人で生きていくことができるために、健康寿命を延ばそう。スポーツ庁も文化庁もこのことに取り組みべきだと、私は口を酸っぱくして訴えています。

(了)



松浪氏と青年会メンバー

第57回例会「新春のつどい」開催される

■日時 平成29年2月13日（月）午後5時30分～午後7時 ■会場 レンブラントホテル厚木 3階相模の間



横手副会長 開会の挨拶



今年もやりました“大福引大会”



司会 瀬戸副会長



甘利明衆議院議員特別講演 「第4次産業革命と日本の将来」

今年の「新春のつどい」は、甘利明衆議院議員に講演をお願いしました。議員は最近「第4次産業革命」を取り上げて、それに対する日本の対応について警鐘を鳴らしておられます。

1. 日米首脳会談について

2月10日に行われた日米首脳会談についてどう読み解くか、についてお話しがありました。安倍総理はキャラの濃い方と付き合うのが上手だというお話、フロリダでの日米首脳会談中に北朝鮮が弾道ミサイルを発射しましたが、安倍総理が急ぎよ開いた記者会見の場でトランプ大統領が100%日本を支えていくと明言されたことが象徴しているように、安倍総理の米国訪問は100点満点だった、というお話がありました。

2. 第4次産業革命について

今日、我々は第4次産業革命の真っただ中にある。オフィスにあるコンピュータだけでなく、工場の設備や車や道路などのインフラまでもインターネットでつながり、連動して作動し、データをやりとりする時代となった。データを蓄積してビッグデータ化して、さまざまな分析を行い、分析を生かした新たなビジネス展開が可能な時代となった。人工知能がビッグデータを解析し、ロボットがインベーションを社会実装する時代となった。このように産業革命が起きると勝者と敗者が入れ替わることがある。

これまでの勝ち組が負け組になり、その逆も起きる。だから、従来通りで大丈夫と油断してはいけない、というお話がありました。データの活用がこの勝敗のカギを握っているので、議員立法で「官民データ活用促進法」を成立させた、というお話もありました。



日本は世界に先駆けて高齢化社会を迎えており、課題先進国なので、大変だけれども、それを武器にすることもできる。世界に先駆けてソリューションを生み出せば、今後、高齢化する世界市場に対して売り込めるチャンスがある、というお話もありました。

また、「日本を世界で最もイノベティブな国にする」これが私の夢であり合言葉である、というお話もありました。そのため、これまで、科学技術政策の司令塔を復活させ、企業と大学の研究のつなぎ役として、「産総研（産業技術総合研究所）」「理研」「物質材料機構」を活用することにした。また、シリコンバレーでベンチャーを輩出する拠点となっているスタンフォード大学のような大学を日本につくるために、大学改革法案を成立させた、というお話がありました。

会員の 会社紹介 掲示板

この掲示板では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載 OK です。是非、あなたの会社も PR してみたいかたがたでしょうか！。掲載無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

カフェ Kurumi 新規開店！

6月30日(金) 大山の麓にお洒落なカフェを開店します。
県央経営者会の会員の皆さん、大山にお越しの際には是非お立ち寄りください。



場所
大山ケーブルを降りてすぐです
(伊勢原市大山 12 番地)

Wood Craft

お問い合わせ：ウッドクラフト(株)
電話 0463-79-6117
代表取締役 古瀬 智也



第4回ローズガーデンフェスティバル並びに第58回例会は、5月13日(土)開催予定でしたが、当日荒天のため中止となりました。関係された諸団体並びに関係各位におきましては、当日になってからの中止伝達で大変ご迷惑をお掛け致しました。ここにお詫び申し上げます。



※写真は去年の様子です

第4回ローズガーデンフェスティバル報告



第59回例会親睦旅行(行先未定)
今年の親睦旅行は8月27日～28日の1泊旅行を計画しております。どこか行きたい場所・見たい所などありましたら事務局までご連絡ください。

事務局便り

夏季移動例会感想文

親睦委員会委員長 末澤 広子

去る9月18・19日、木更津方面での夏季移動例会が催されました。アクアラインから最初の観光地は「笠森観音」、岩の上に建てられ、国の重要文化財に指定された「観音堂」を上ると、四方に房総の景色を見渡せます。

その後、小泉酒造にて日本酒の試飲、宿の『ホテル三日月』へ。リニューアルしたばかりの館内は多くの家族連れで賑わっており、素晴らしい娯楽施設でした。美味しい料理も沢山出て宴会も終焉を迎えるころ、昼食後一旦仕事に戻っていたI氏が駆けつけてくれました！これには皆ビックリ、宴会は大いに盛り上がり、メインイベントは盛会の内にお開きとなったのであります。

翌日も含め隠れた名所を知る事ができ、今回も楽しい旅行でした。しかしながら、日頃の運動不足を思い知られた旅でもありました。多分、私だけではなかったはずですが。